

(2)消費収支計算書（法人全体）の概要

消費収支計算書は、当該会計年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするためのものであり、次のグラフは、消費の収入及び支出を項目別にグラフにしたものである。

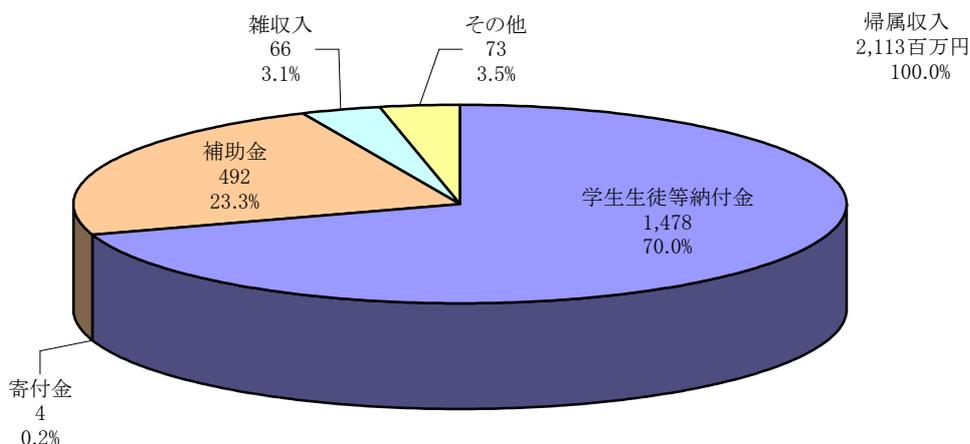
当年度決算の結果、帰属収入合計は2,113百万円、基本金組入額190百万円で、消費収入の部合計は、1,923百万円となった。

消費支出の部合計は、2,042万円となり、当年度消費収支差額は、119百万円の支出超過となった。

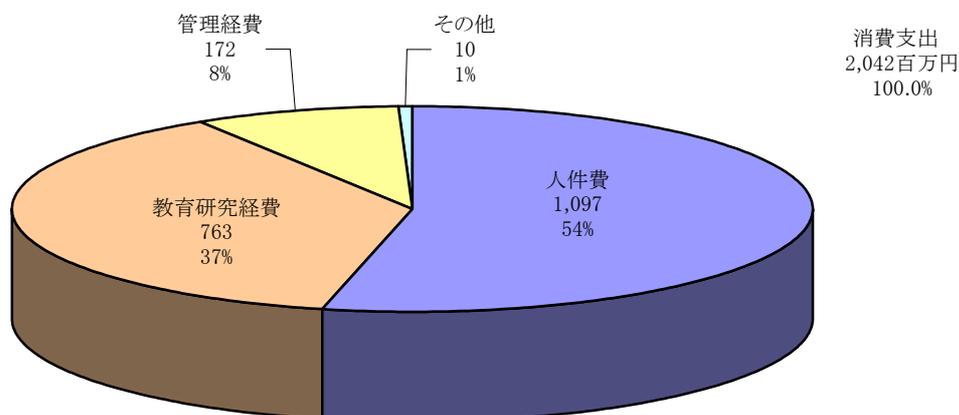
よって、前年度消費収入超過額1,376万円に基本金取崩額2百万円と当年度支出超過額119百万円を加えた、翌年度消費収入超過額は、1,259百万円となった。(単位：百万円)

項目  
金額  
構成比率

帰属収入(2,113百万)－基本金組入額(190百万)＝消費収支合計(1,923百万円)



消費収入合計(1,923百万)－消費支出合計(2,042百万)＝消費支出超過額(△119百万円)



<用語の説明>

- 帰属収入合計 …… 当該年度のすべての収入のうち、負債とならない純資産を増加させる収入
- 基本金組入額合計 …… 教育活動に必要な資産を継続的に保持するため維持するべきものとして、土地、建物、機器備品等の資産を自己資金で取得した額で、帰属収入から組入れた金額(取得額と同額)
- 消費収入の部合計 …… 帰属収入から基本金への組入額を控除した金額
- 消費支出の部合計 …… 当該年度において消費する資産の取得価格及び用役の対価で資産を減少させる支出